キャラクター名: 陸路　遥風（むつじ はるか）

プレイヤー名:

シンドローム	ウロボロス アザトース	ワークス	オカルティスト	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	16歳	性別	女性
覚醒	渇望	衝動	妄想	初期侵食率	37 %
出自	ヒロインの隣人	経験	歪んだ献身	邂逅	魔導書

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	1	0	0			1
精神	5	1	2			8
社会	0	0	1			1

HP	32
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚			意志	9		調達	6	
運転：			芸術：			知識：ｸﾄｩﾙﾌ	9		情報：学問	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
炎の弾丸・CRC P.111	射撃	8r+9		30		<意思>で判定。命中-1。威力<意思>*3 侵食+3
スキルフォーカス	射撃	8r+15		30		<意思>で判定。侵食3(準備3)ﾀﾞﾒｰｼﾞ
CRスキルフォーカス	射撃	8r+15		30		<意思>で判定。侵食5(準備3)ﾀﾞﾒｰｼﾞ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
階差機関の可能性/CRC P.115	
ソロモンの鍵/CRC P.117	
新天地の魔術的脅威/NC P.117	
思い出の一品	
ｴﾝｼﾞｪﾙ『ｴｲﾎﾞﾝの禁呪法』(NC P.134)	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
複製身体	P	N		
紅羽　燈花	P　信頼	N 敵愾心		
七海　志帆	P　慕情	N　偏愛		
野々宮　硝子	P　友情	N　憐憫		
子籠　幸	P○頼れる共犯	N悔れぬ異教徒		
ショゴス	P	N		
	P	N		

最大財産P: 0	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
CRウロボロス	2	2	MJ	至近	自身	自動	-	
効果：								
D妖精の手	2	4	オート				-	
効果：	出目1を10に変更。シナリオLv回							
原初の赤(スキルフォーカス)	3	2+1	MJ	-	自身	対決	-	
効果：	<意思>選択。達成値+[Lv*2]個							
冒涜的存在	1	-	常時	至近	自身	-	-	
効果：	[恐怖]除くBS無効＋全てのメジャーアクション[BS+1]個ダイス増							
此処より永久に	4	1	Mi	-	自身	-	-	
効果：	メインプロセス中、攻撃力+[Lv*4]、メインプロセス終了時に1d10を振り出目に応じたBSを獲得							
EMエイボンの禁呪法	4		常時					
効果：	魔術判定でCoC知識÷4(最低1)個Dを振り足し同数Dを取り除く							
シャドウダイバー	1	2	MJ	至近	単体	自動	-	
効果：	感情を読み取る。							
まだらの紐	1	1	MJ	視界	-	自動	-	
効果：	影に知覚能力を持たせる。							
影絵芝居	1	-	MJ	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果：	影を自在に操る。							
ありえざる記憶	★	2	MJ	至近	単体	※	-	
効果：	対象に偽りの記憶を植え付ける。							
効果：								
効果：								
効果：								

【騎士を目指し贄に堕ちて】
七海志帆の幼い頃からの幼馴染。先生、クラスメイトの間でも評判のいい風紀委員。
子供のころから背が高く物分かりが良かったせいで、昔からガマンをすることが多かった。

幼い頃、志帆と砂場でおままごとをしている際、2人ともお嫁さん役がしたかった。
当然、彼女に花嫁役を譲り、自分がお婿さん役をすると伝えた。
それに対し、「なら、順番こにしよう！」と提案してくれたのが志帆を特別に思ったきっかけだ。
自分が志帆の、志帆が自分の花嫁であり花婿になった。
それは小さいながら自分の願いを志帆が認め、赦し、与えられた祝福であった。
以来、七海志帆に釣り合う相手であるべく模範生として部活に学業に打ち込んできた。
しかし、ある時から七海志保の魅力に惹かれ、志帆をレイプしようと計画している不良たちの話を立ち聞きしてしまった。
運悪く立ち去る前に見つかってしまい、不良たちに囲まれた中で出した提案は…
「私が身代わりになるから、だから志帆には手を出さないで…」
その日から時を選ばず彼らに呼び出され思いつく限りの捌け口にされてきた。
その事実を志帆にひた隠しにしながら過ごす中で、ふとしたきっかけで手に入れた銀の鍵と魔導書によって世界が変わった。
魔術の存在を信じ、縋るまでに至るにはいくらかの紆余曲折はあった。
結果的にPCは魔術を自らの新しい神として縋った、手にした奇跡の力によって不良たちを一人残らず精神崩壊に追い込んだ。七七海志保は穢させない。私だけが彼女の花婿で、花嫁なんだ。

『秘めたる願望』七海志保と共に凌辱の底に沈みたい。
七海志保を神聖視し永劫に穢れ無きヒロインでいて欲しいと願う反面、
純潔も喪い、穢れ罪を犯した自分と釣り合わないと思うと身が引き裂かれそうになる。